

1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

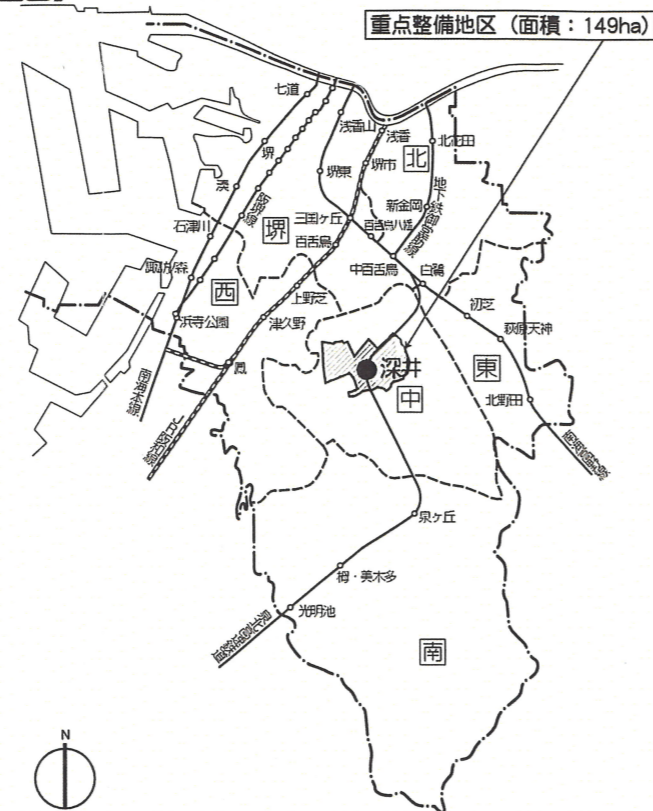
地区 泉北高速
深井駅周辺地区

地区特性

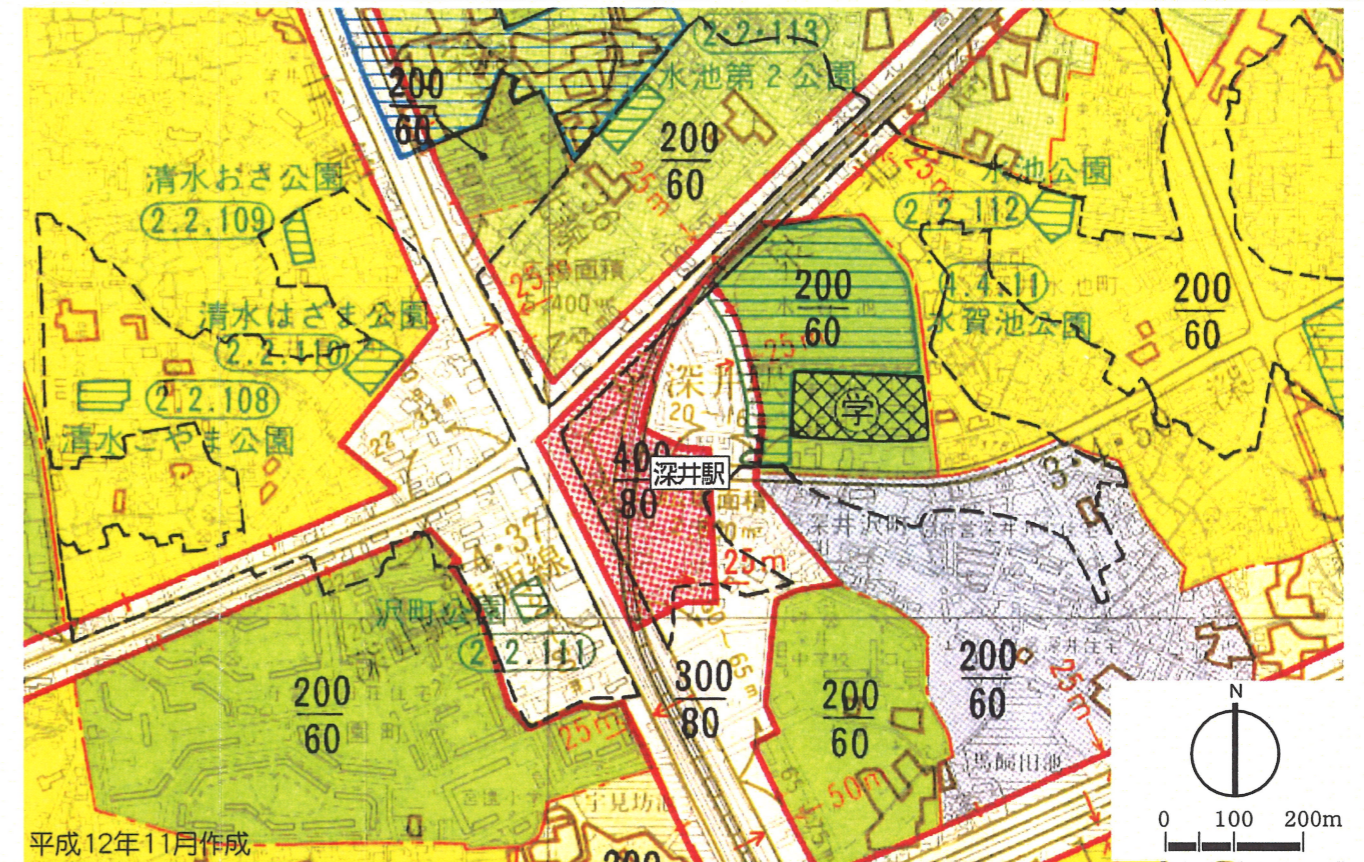
【データ】

- ① 1日平均乗降客数……………23,996人/日
(平成11年度)
- ② 高齢者利用者数……………2,823人/日(推定)
身体障害者利用者数……………674人/日(推定)
(注) 高齢者利用者数 = 1日平均乗降客数(①) × 市平均高齢者率
身体障害者利用者数 = 1日平均乗降客数(①) × 市平均身体障害者率
- ③ 駅前広場概要
 - ・面積(西側)……………5,400㎡(供用済)
 - バスバース数(西側)……………2
 - タクシーバース数(西側)……………1

【位置図】



用途地域図



【地区特性】

- ・深井駅は、6支所区域のうち中地域に位置し、中支所の最寄駅である。
- ・駅周辺地区は地域生活拠点であり、住宅地としての土地利用が主であるが、駅ビル及び幹線道路などに面したエリアには、ロードサイド型店舗などの商業施設が多く立地している。
- ・深井駅周辺地区には、水質池公園、ソフィア堺、中図書館、堺中郵便局などの公共公益施設が立地している。
- ・深井駅は鉄道・バスターミナル結節点である。

【交通バリアフリー化からみた主な課題】

- 鉄道駅
 - ・駅構外にエレベーター、エスカレーターが整備済みであり、構内エレベーターが未整備である。
 - ・利便施設については、障害者用便所が整備済み。
- 駅前広場
 - ・歩行空間の屋根は一部整備済みであるが、使いやすいベンチ、分かりやすい情報提供装置の再整備の検討が必要である。
- 道路
 - ・地区内の道路は、幹線道路における歩道が整備済みであるが、下水道工事に伴う路面の凹凸が多く、全般的に歩きやすい路面の再整備が必要である。
 - ・一部区間で段差、横断勾配の改善の検討が必要である。
- 信号・交差点
 - ・特定経路における音響信号設置・改良、幅の広い交差点での視覚障害者の横断の安全性の確保の検討が必要である。

建物用途現況図

